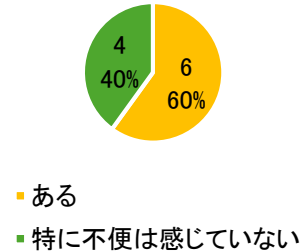


1. 現状と課題について

(1) 事前アンケートからの主な意見

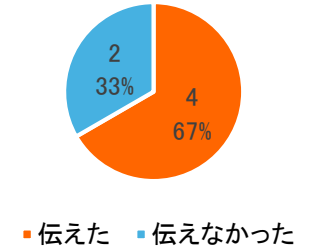
問1. 日頃の生活や活動の中で、不便に感じたりすることに関して、行政にご意見やご要望を出したいと思ったことはありますか？

ある	6名
特に不便は感じていない	4名



問2. 行政に対してご意見やご要望を伝えたことはありますか？

伝えた	4名
伝えなかった	2名



問3. 意見を出す際に、気になったことや改善した方がいいと感じた点がありましたか？

- ・ 意見を伝えた後、その結果(反映結果や今後の対応など)のフィードバックがあると嬉しい。また、パブリックコメントに対する町の回答がコピー&ペーストで、回答してもらっていると感じられにくい。
- ・ 記名で意見提出をすることにより、自分の発言に責任も生まれるが、同時にハードルも上がるように感じる。

問4. 意見を出すに至らなかった理由やその際に感じたこと、出しづらいつと感じた点などはありましたか？

- ・ 意見を出す方法がわからず、そのまま提出せずに終わってしまった。
- ・ 意見を伝える場所(意見を所管する部署)がわからず、伝えられなかった。

(2) 行政の認識・見解

- ・ 問1より、半数以上の委員が行政に対して意見や要望を伝えたいという結果から、町民においても、意見や要望を伝えたい町民が多い可能性がある。
- ・ 問2の結果により、その中でも約3割の人が伝えるまでには至っていないことが見えてきた。理由としては、問4で委員が上げているように、意見の提出手段、伝える先を行政側が明示できていないことにあるのではないかとと思われる。また、問3で挙げられているように、記名での意見提出により、意見の提出に消極的になってしまう場合もあると考える。

<事前アンケート結果等のまとめ・分析>

- ・ 事前アンケートでは、半数以上の委員が行政へ意見や要望を出したいとの回答であったことから、町民においても、多くの方が行政への意見や要望を持っているのではと考える。
- ・ 他方で意見を出したいと感じたことがあっても、意見を伝えるにまでには至っていないという人がいる現状もある。意見を所管する担当部署などの提出先、意見を伝える手段がわからないという意見があった。また、パブリックコメントは記名式としているが、記名することで意見を出すことに対するハードルがあるのではとの意見もあった。



こういった現状を踏まえ、意見を出したいと感じた町民が行政に提出しやすい環境・仕組みをつくるには、行政側・町民側がそれぞれどのように取り組み、意識醸成を進めるべきか。

2. 行政の意見聴取に関する課題について

これまで行政では以下の手法により、町民より意見聴取を実施

- (1) 審議会等の会議の開催
 - (2) 意見交換会の開催
 - (3) 意見公募(パブリックコメント)手続の実施
 - (4) アンケート調査の実施
 - (5) その他適切な方法
- (※自治基本条例第14条により定める)



<議論1>

「現状と課題」の分析結果を踏まえ、これまで行ってきた意見聴取の課題とは？

- ・意見聴取の実施情報(実施期間、提出方法、担当部局等)の周知不足
- ・提出された意見に対するフィードバックが不十分

3. 課題の解決策、今後の取組について

<議論2>

令和8年4月から取り組むべきこと(早急に対応すべきこと)

- ・公式LINE、SNS等の活用
- ・意見を提出した人への、町からのフィードバックの仕組みの見直し

<議論3>

令和8年度の自治基本条例改正に向けた議論の方向性として整理すること
(時間をかけ対応すべきこと)

- ・潜在的な町民の意見収集の手法を検討
- ・パブコメ等の実施に加え、計画見直しの段階に応じて、意見聴取する等の仕組みの導入検討

4. 今後のスケジュール

R8.5月 第3回自治推進委員会

- ・オリエンテーション(見直しの進め方など)
- ・町長から諮問

審議(条例見直し)

R8.12月 第〇回自治推進委員会

- ・町長へ答申
- ・自治基本条例(案)完成

【全6回予定】